

第1回エリアプラットフォーム会議 議事概要

日時：令和5年12月20日（水）午後1時30分から午後4時30分

場所：市民交流プラザふくちやま市民交流スペース（3階）

1. あいさつ：福知山市（芦田担当課長）より挨拶

2. 自己紹介

- 福知山市
都市計画区域内のまちなかのにぎわい・居住誘導に向け取り組んでいる。
- 福知山観光協会
福知山の観光PR、地域づくりを実施
- 福知山青年会議所
地域課題に関する事業を実施。福知山城を周辺にイベント等を行う。
- 福知山地域振興社
8月から事業開始。もともとは大江観光。今後は、市全体の進行について考えていく。
- 福知山フロント
駅正面通りの空き店舗を活用し、これまでに23店舗を誘致。今年5月には複合商業施設「銀鈴ビル」が開業し、8店舗が出店。
- 福知山まちづくり
イベントの実施や都市計画に係る事業を検討中。
- 福知山ワンダーマーケット
新町商店街を中心に定期市を開催している。
- 新町商店街：欠席
- 広小路商店街：欠席
- 福知山駅正面通り商店街
福知山フロントとともに、イベント等を実施。
- 福知山商工会議所
H10からTMOの実施や中心市街地協議会へも参画している。
- 福知山市自治会長運営委員連絡協議会
自治会の運営等を実施。会長が駅前自治会長を務める。
- 京都工芸繊維大学 阪田教授・阪田ゼミ
外部者として福知山の地域振興に携わっている。
- 福知山公立大学 山本教授・山本ゼミ
関係人口の増加を情報記述の観点からサポートできるような事業について考えている。データとして残すことへの貢献を考えている。
- 公庄仁（市民メンバー）・欠席
市民公募により選考。モンブラン博のPRに携わる。

3. 事業概要の説明：省略
4. 規則：省略
5. アイデア・意見等の発表
 - 事業概要・エリアプラットフォーム設置規則に関する意見等
意見なし⇒了承
 - アイデア・意見等の発表
愛称（あれば）・アイデアをそれぞれ発表

観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛称はなし ● アイデア：旧市街地エリアを中心に展開していくことが望ましい。 ● “歩いて街歩き”を中心に考えていくべきと考える。 ● メインの通りを縦軸横軸として駅中心に展開していきたい。 ● 具体的にはライトアップ・再生可能エネルギーを活用したライトアップにより環境に配慮した観光に取り組めると望ましい。
青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛称はなし ● 福知山ではまちのビジョンを考える機会がなかった。 ● いろんなことを色々やるといふことがあるが、町としてどうあるべきかが明確になるのは良いことと思う。 ● 青年会議所の事業としては、福知山城を中心に事業を行っているため、ライトアップなどを行っている。 ● 城を活用したまちづくりといふことができればと思う。 ● まちとしてのビジョンを持ったうえで、活動が展開できることが望ましい。
福知山地域振興社	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛称はなし（あとで決めた方がいい） ● 事業がひとつひとつ独立しているというイメージが強い。 ● 全体的に一緒になって取組が進められればいいのではないかと考える。 ● 御霊公園を活用したキッチンカー利用などの取組ができればいいのではないかと考えている。
福知山フロント	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛称はなし（愛称がどういうものかよくわからない参加者も多いと思うので、参考資料として他都市の事例一覧があればイメージしやすいのではないかと） ● アイデアとしては、市から夢のようなアイデアで構わないと事前に説明があったため「とにかくなにかあれば人が来るだろう」とランダムに出していった。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅 ● カプセルホテル ● 集客イベント ● 三段池公園の奥にある市有林を活用して自然の中でアトラクションのできる施設 ● 三段池公園内に飲食店 ● 駅北口公園で博多のような屋台イベント ● 駅北口公園に埋設したイベント電源 ● 銀鈴ビルの活用強化（情報発信拠点や交流拠点として） ● アート事業企画 ● 商店街をネオンサインで彩る ● ネオン街（飲み屋街）をつくる ● 台湾のような夜市 ● 中心市街地に高級ホテル ● ドローンショーの実施 ● 福知山城に泊まるような企画 ● 駅正面通りの無電柱化（電柱地中化） ● 駅正面通りやけやき通り歩道のインターロッキングをなくして歩きやすくする ● 都市再生推進法人の設立 ● 道路や歩道でのイベント開催 ● 駅正面通り周辺での駐車場の不足の解決
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩くまちづくりのために道路の改装をお願いしたい（3か所） ● 寺町通を歩行者天国にして、伝建地区（伝統的建造物群保存地区）とする ● 広小路は1車線歩道を広げて、広がった土地に小さなお店を作ることで、歩道のどちらにも店舗が充実した街並みとする。 ● 駅正面通りを一方通行にして、余った土地を緑化するなどの対策を行えればと思う。 ● 御霊公園を緑化して、ParkPFIなどの手法で第2のゆらのガーデンなどの場所を作る。 ● 御霊公園周辺の土地を活用したスポーツ機能の誘致をできればいい。（文化施設とスポーツでの活用などがあれば） ● まちなかには土地を集約した集合住宅や、（福知山では少ない）質のいい住宅に。さびれた街という印象を払拭するためにきれいな街に。（緑化など）

	<ul style="list-style-type: none"> ● 商品のブランド作りから店舗のリノベーションを考えていくスクールを開催する。
ワンダーマーケット	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的な店舗が常に散在しているが、これをもう少し増やしていければ“点”が“線”になっていく。 ● ターゲットが見えないので、アイデアが見えないので、ターゲットを絞ってまちづくりを考えられれば良いと思う。(民間だけでなく公共も) ● ワンダーマーケットには市外から来る人も多く、マイクロツーリズムということが言えると思う。観光ということを考えるならば近隣の市町が多く来ている。 ● また、市内では子供が多くワンダーマーケットには来てもらっている。なので、ファミリー層をターゲットに考えていくというのは一つではないかと思う。 ● さびれているという見方もあるが、インバウンドでは魅力を感じているのではないか。だからこそ今の資源を生かした「まちじゅうホテル」の事業により空家・空き店舗の活用を考えていくというのは一つではないかと思う。 ● あとは居住者を増やすというのは重要だと考える。集合住宅は一つだと思うが、工房やアトリエなどの店舗兼用住宅を誘致する取り組みの可能性があると感じている。 ● 商いを始めたいという人は多いと思う。なので、そういった人を支援する取り組みや場所を増やすことが大切と思う。(それはまちなかの人のネットワークが良いからだと思うので、ソフトの部分での取り組みも重要だと感じる) ● 個人的には由良川が活用されていないというのが残念に思う。由良川にオートキャンプ場やアクティビティができるような展開ができれば良いと思う。 ● また、道がデコボコで植栽が汚いというのがある。シビックプライドを高めるためには街をきれいにしていくという事業を少しでも進めていく必要があると感じる。
駅正面通り商店街	<ul style="list-style-type: none"> ● 「周遊させる」ということは難しいと思う。だからこそ駅前に集めるというのが重要ではないか。一か所に集めてしまうというのがいいのではと思う。 ● 福知山は交通の便が良いので「道の駅」が必要だと思う。 ● 北近畿の玄関として、道の駅やガソリンスタンドといった“関所”のような機能を強みにし、交通の便を活かしたまちづく

	<p>りを進めてほしい。</p>
商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に難しいということがまずは言える。(これまでの TMO などの取組を考えても) ● 経営手法の分析であるが SWOT 分析というのをやっているが、福知山市においてまずは SWOT 分析を固め、“どうい う人に来てほしいのか”(ターゲット) などが見えてくるのでは ないか。 ● 新しいお店を作っていくというのは大切ではないか。そうい った支援ができればいいのではと感じている。
自治会長 運営委員 連絡協議 会	<ul style="list-style-type: none"> ● 以前よりは活性化が進んでいるかなと思う。 ● どこの市町でも空き家対策というのが問題として挙がってい る。事業が 5 年先を目標とするのか、10 年先を見据えるのか ということでビジョンが変わってくると思う。 ● エリアの中で日常生活が完結できるということで関心が高い と思う。あとは、エリア外とのかかわりについて、交通の結 節点としての位置づけなど。 ● 駅前ということでの特化した話であれば、駅北口公園を利用 したイベント、朝市などの人を呼ぶイベントができればよい。 ● 個々の商店が新しい名産を作り、それを特産としていく。 ● 「北の都の玄関口」
阪田ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> ● 周遊性・線的・面的に街を育てていくということで外部の人 間から考えている。 ● よその市町から見れば、子供がまちなかをよく歩いている。 “子供が進めるまちづくり”ということでまちづくりを考え られれば、先進的ではないか。 ● 多世代が交流できるまちづくりというのを提案できれば良い と考える。
阪田教授	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間からの出資で行っている部分が多いが、市からも多くの サポートをもらえるとありがたい
山本ゼミ	<ul style="list-style-type: none"> ● 福知山は田舎という印象が強いが、4 年過ごすとても楽し い街だと感じる。 ● インターネットでは分からない面白い店も多い。 ● 新しく来た人にどのように情報提供ができるかというところ を考えられればいいのではないかと思う。 ● 「情報が少ない」という印象があるから、これをサポートで きるようにしたほうがいい。

山本教授	<ul style="list-style-type: none"> ● 私は東京で暮らしている時とそん色がなく、とてもいい街だと考える。この印象の違いは“車”をもっているかないかの違いだと思う。 ● 周遊圏の中でちょっと立ち寄ってもらえる場所になればいいと思う。 ● 歩かせるということは経済の面から見れば重要だと思うので、歩けるまちづくりは重要と思う。 ● まずは日帰りの観光地として、そのあと宿泊の観光地を目指すということが重要である。(宿泊観光地のほうが経済的には効果大きい)
公庄仁 (欠席、 資料提供 あり)	<p><福知山市が資料を読み上げ></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福知山SNAC (エリアプラットフォーム名称) ● (市外の方向け) 普通の暮らし体感ツアー、空き家ツーリズム、食べログ3.2以下の店MAP ● (イベント系) 第1回福知山まちなか競歩、馬タク、土曜の歩行者天国、デザイナーinレジデンス、由良川下り、街ごとフリマ ● (コミュニティ) 街なか朝市、犬の散歩代行サービス、散歩部forビジネス ● (すぐできること) 人気スニーカーのレンタルサービス、木製ベンチを街なかに、お昼のスナック「けんぜん」、はしごカフェ、おさんぽビンゴ福知山 ver.、コワーキング民家 ● (移動手段) 新しいモビリティの活用、人力車の導入、車イスのレンタルサービス、16人乗り自転車タクシー ● (将来的に行いたい) 御霊スクリーン、PLAY! ROAD、ひと坪ブース、巨大光秀くん ● 「意見よりアイデア。アイデアから行動。」をスローガンに。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 福知山まちなか再生推進協議会 (エリアプラットフォーム名称) ● 福知山まちなか再生推進地区 (対象エリア名称) ● 対象エリアには多くの都市公園があり、シンボルとなる御霊公園と福知山城公園がある。 ● 御霊公園：まちなかのイベントとしての交流スペースとしてのにぎわいの創出をしていきたい。 ● 福知山城公園：お城と由良のガーデンの前庭としての機能。3か所が一体となった取り組みができればと考える。

6. 意見交換

<p>福知山フロント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「今の子供たちが将来も福知山に住みたいと思うかどうか」ということを念頭において事業を行うべき。 ● ターゲットという話があったが、市民と旅行者それぞれの視点で考えるべき。 ● 事業を実施するプレイヤーをだれがするのかということは明確に意識しないと、未来ビジョンを作っただけで何も進まずに終わってしまうのではないか。 ● 福知山フロントに視察に来られた人から、若い世代が多く参加しているのは非常に珍しいと言われるぐらい 30・40 代が活躍している組織だが、今後若い人を入れてどのように事業を継続していくのかということのをすでに検討している。未来ビジョンにおいても、これから先を見据えて事業計画を考えることが必要だと感じている。 ● 朝市というアイデアがあったが、旧三町などの農産物や地産品の魅力発信は重要だと思う。 ● 駅・御霊神社・広小路・福知山城という市民でも歩かないような距離のあるエリアを観光客は歩かないので、レンタカー・レンタサイクル・周遊バスなどの二次交通の整備というのは重要である。 ● 木材加工体験などの体験型コンテンツをまちなかに設けるのは面白いと思う。
<p>福知山市</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な事業が多々あるが、事業の期間については、短期・中期・長期という目線で整理できればと考えている。 ● また、駐車場についてイメージする場所はあるか。
<p>福知山フロント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な場所というところはイメージとしてないが、駅前では駐車場がない場合は出店が難しいということがある。駅正面通りの沿道ではなく道の裏側などに作れば良いと思う。
<p>福知山まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 進め方についてであるが、“気さくな感じ”ですすめるものなのか。今年度のスケジュールは。 ● 今年度は概要のみを作り、来年度にしっかりとした検討を行い、しっかりとした事業計画（アクションプラン）を作成すべきではないか。（国庫の補助を念頭に置く）
<p>福知山フロント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市の事前説明では補助金の申請は 12 月までのため今年度は申請が間に合わないということだった。来年度は補助金なしに具体的な事業を実施するのは難しいと思うので、今年度は

	概要のみ、来年度に事業計画という福知山まちづくりの意見に賛成である。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 今年度についてはまずは様々な事業をすすめることをビジョンに明記することを考えている。 ● 補助事業としては2か年かけて実施することは問題ない。ただ、今年度は未来ビジョンを作成することとしている。
駅正面通り商店街	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅の整備については、別途市の担当部局に確認したい。
ワンダーマーケット	<ul style="list-style-type: none"> ● この未来ビジョンの作成にあたっては、どの程度の現状分析を想定しているか。 ● まちなかを歩く人の分析というのが必要ではないかと思う。(どういう人がまちなかを周遊しているのかということをしつかり分析する必要があるのではないかと思う)
山本教授	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状として10年後の福知山をどうしたいのかというビジョンがあるのか。そういった会議を行うような場はあるのか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 市全体のビジョンというものはあるが、このエリアプラットフォームで地域のビジョンについて議論を進めていければと思う。
自治会長 運営委員 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助金目当てで事業をやるというのは事業が続かないと思う。 ● 補助事業は個別の様々な事業に対して補助が出るという位置づけなのか。 ● エリアプラットフォームのコンセプトはどこにあるのか。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助事業は個別の事業を対象とするものではなく、未来ビジョンの作成に対して補助を得ている。なので、今後は未来ビジョンに基づく事業に対して補助事業を得ていくという流れになると考える。 ● 市として考えることは“まちなかの周遊性の確保”である。市としては様々な周遊を生み出す取り組みについて、最終的にマップに落とし込んでいきたいと考えている。その結果として居住を進め、にぎわいが生み出せればと考えている。
青年会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● ここに集まる人は福知山でさまざまな取り組みを行っているため、まちのビジョンに向き合う場として協議ができればと考える。 ● あるきたくなるまちということでは視座が少なすぎると思う。

福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 国では歩きたくなるまちなかづくりの事業を推進しているので、補助金を活用する事業としてはその方向での取り組みが中心となる。しかし、市として必ずしもそれを中心に考えるとは限らない。なので、まちのビジョンを考え、将来のあり方について短期・中期・長期で検討できればいいと思う。
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 3回で決めるということを考えるならば、事前の現状分析というのはまだ不足していると思う。だからこそ、今年度は概要版として幅広くアイデアを集めたものを作成したうえで、来年度きちんとした分析（SWOTなど）を行い、事業計画としてのまちづくりをしっかりと進めるべきだと思う。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 市としても3回の協議での着地点というのをどうするかというのは引き続き考えていく。
山本教授	<ul style="list-style-type: none"> ● あるきたくなるまちづくりを推進することの背景は何か。 ● 地方では車依存が進んでいるから、福知山駅前というよりは大江などの地域での対応ではないか。
福知山まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 国の施策は方向性として活用できるものとして考えればよく、福知山の駅前は福知山らしいあり方を考えればよいと思える。
福知山市	<ul style="list-style-type: none"> ● 車中心の社会でなく、人中心のまちなか居住などが推進されている。 ● 「あるきたくなる」は、歩いてもらいたいということだけではなく、歩いてもらえることでのにぎわいを発信するということである。歩いてもらえるということで、中心部のPRができればいいと考える。そうすることで結果的には居住誘導につながれるとよいと思っている。

以上